

平成 29 年度 自主防災組織リーダー育成研修アンケート (○/○)

1. 性別 (男性 ・ 女性)

2. 年齢 (20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳代 ・ 60 歳代 ・ 70 歳代 ・ 80 歳代)

3. 市町村名 (_____)

4. 本日の研修内容についてお伺いします。

(1) 講義内容は今後の活動に役立つと思われますか。(いずれか1つに○)

	大変役立つ	やや役立つ	ふつう	あまり役立たない
①災害への備えについて				
②要配慮者への支援				
③先進事例紹介				
④避難所運営ゲーム				
⑤全体を通して				

(2) 今回の研修で学んだ内容をどう活かしますか。(複数回答可)

- ア. 自主防災組織内での勉強会等で取り上げる (内容: _____)
- イ. 自主防災組織内での訓練で実践する (内容: _____)
- ウ. 自主防災組織内で作成する広報チラシ等で周知する (内容: _____)
- エ. 自主防災組織以外での地域の活動に取り入れる (内容: _____)
- オ. 自主防災組織を新たに結成する
- カ. その他 (_____)

(3) 良かった点や改善点等、ご意見があればご記入ください。

[_____]

(⇒裏面に続きます)

(4) 今後の研修において希望する内容はありますか。(複数回答可)

講 義

- | | | |
|-------------------------|--------------|-----------------|
| ア. 活動事例の紹介 | イ. 被災地の経験談 | ウ. 災害ボランティアの経験談 |
| エ. 組織の平常時活動 | オ. 組織の災害時活動 | カ. 気象情報の活用方法 |
| キ. 日赤や自衛隊などの防災関係機関による講演 | | ク. 災害別の防災対策 |
| コ. 避難行動要支援者支援 | サ. 地区防災計画の作成 | |

訓 練

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ア. クロスロードゲーム(※1) | イ. 災害図上訓練(DIG)(※2) |
| ウ. 避難所運営ゲーム(HUG)(※3) | |

交 流

- ア. 他組織との情報交換

その他

その他 ()

※1 クロスロードゲーム：阪神・淡路大震災で実際に問題となった「災害対応のジレンマ」をカードゲーム化し、カードに書かれた問題に対し「Yes」か「No」を決め、お互いにその答えを選んだ理由を聞くことで、多くの価値観や視点に出会うことができるゲーム。

※2 災害図上訓練(DIG)：広げた地図を囲み、知りえた情報等を、皆で一緒に議論しながら、簡単に災害対応策を考える災害対応トレーニング。

※3 避難所運営ゲーム(HUG)：本日 午後に行った研修です。

5. 次に、あなたの所属している自主防災組織について伺います。

(1) 所属している自主防災組織について、感じることはありますか。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ア. 若い人が少ない | イ. 高齢化している |
| ウ. 活動(訓練)が活発である | エ. 活動(訓練)が少ない |
| オ. 活動(訓練)に参加する人がいつも決まっている | カ. 発災時に活動ができるか不安 |
| キ. 組織内で知識の継承ができている | ク. 組織内で知識の継承できていない |
| ケ. 行政等と連携ができている | コ. 行政等と連携できていない |
| サ. その他 () | |

(2) 地域で防災活動を行う際、どのような団体と連携していますか。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------|-------------|------------|
| ア. 市役所・役場 | イ. 消防団 | ウ. 消防署 |
| エ. 地域の企業 | オ. 小学校 | カ. 中学校 |
| キ. 高等学校 | ク. 大学 | ケ. 幼稚園・保育園 |
| コ. 社会福祉協議会などの福祉関係の団体 | サ. 社会福祉施設等 | |
| シ. 日本赤十字社などの医療関係 | ス. 他の自主防災組織 | |
| セ. その他 (| |) |

(3) 自主防災組織を活性化していくうえで必要と思うものはありますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------|------------------|
| ア. リーダーとなる人材 | イ. 防災活動への参加者 |
| ウ. 組織づくりのアドバイザー | エ. 訓練を行うための指導者 |
| オ. 防災活動を行うための資機材 | カ. 防災に関する知識を学ぶ機会 |
| キ. 活動に対する住民の理解 | ク. 他の団体との連携 |
| ケ. その他 (|) |

(4) 日々の活動のなかで悩んでいることはありますか。

[]

ご協力ありがとうございました。